

### 3 まとめ

調査の結果から、「専門的知識及び経験を要する福祉用具専門相談員」に求められる役割について、以下のように整理することができます。

#### 【信頼を得るための前提となる知識・能力】

- 介護支援専門員から信頼を得ている経験豊富な福祉用具専門相談員が備えている知識・能力が明らかになりました。**介護保険や福祉用具、住宅改修に関する十分な知識に基づいて、福祉用具に関する一連のサービス提供プロセスを確実に実施し、福祉用具の専門職としての役割を果たすことが前提となっています。**



#### 【他職種との連携を実現するための高度な知識・能力】

- こうした知識、能力に加えて、多職種との連携を実現するためには、さらに高度な知識、能力が期待されています。**ケアマネジャーやリハ専門職等、各職種との接点において、連携相手の専門領域を一定程度理解したうえで、福祉用具に関する専門職としての知見に基づく情報提供、提案などが重視されている**といえます。



#### 【知識や能力を発揮し、主体的に関わる姿勢】

- 上記の知識、能力を備え、こうした知識、能力を十分に発揮して、**利用者への説明や相談対応、サービス担当者会議など多職種による協議の場やケアプラン作成の支援の場に際して主体的に意見を述べ、積極的に福祉用具を用いた生活のあり方を提案するなど、ケアチームのメンバーとして主体的に関わる姿勢**が求められています。

- すなわち、「専門的知識及び経験を要する福祉用具専門相談員」には、単に専門的知識と経験に基づいた知見を蓄積するだけでなく、**それをベースにして福祉用具を用いた生活のあり方、それを実現するための福祉用具の選択、利用者への適合、他の介護サービスとの拮合せなどを提案し、実現させる「実践力」が求められている**と言えます。
- 福祉用具専門相談員自身も、「専門的知識及び経験を要する福祉用具専門相談員」としての役割を果たすためには、福祉用具専門相談員としての資質として、**人間性をも含めて、専門領域および医療、介護技術等の関連領域に関する知識、アセスメントや選定・提案能力、コミュニケーション能力、他職種との連携やチームケアにおける貢献、福祉用具に関する専門職としての心構え、仕事に取り組む姿勢などの重要性を認識**しています。

## <福祉用具専門相談員に求められる知識・能力のイメージ>

<p>今後さらに期待される知識・能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門性や経験に基づく積極的な選定・提案、アドバイスの提供（状況を読んだプラスアルファの提案、先を見越した提案、複数の選択肢、自立に向けたアドバイスなど）</li> <li>・ 利用者の気持ちを汲み取りとうとする姿勢や制度等に関する相手に合わせたわかりやすく丁寧な説明など</li> <li>・ チームの一員としての主体的な参加（担当者会議出席、発言、熱意、一緒に取り組む姿勢）</li> </ul>
<p>専門性の高い知識・能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢者の心身の機能や変化の特徴に関する経験に基づいた幅広く具体的な知識</li> <li>・ 高齢者の日常生活の基本動作、個性、生活リズム等についての経験に基づく具体的な知識</li> <li>・ リハビリテーションの考え方や福祉用具との関係に関する知識</li> <li>・ 高齢者に多い疾患・疾病とその症状・進行に関する知識</li> <li>・ チームケアに関する知識</li> </ul>
<p>基本的な知識・能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険サービスに関する最新かつ正確な知識</li> <li>・ 多様な福祉用具に関する知識</li> <li>・ 新製品に関する詳細な知識</li> <li>・ 機種別の構造、機能の違い、適用に関する知識</li> <li>・ 住環境と福祉用具の関連に関する経験に基づく具体的な知識</li> <li>・ 接遇・コミュニケーションに関する豊富な知識</li> <li>・ 認知症の症状や特徴を踏まえた関わり方に関する知識</li> </ul>
<p>知識</p>	<p>能力</p>